

3月14日 全校朝会（ミート）



## 友達と仲よくするためのたし算

おはようございます。いよいよ全校朝会もあと2回です。

もうすぐ、新しい学年、新しい友達との学校生活が始まりますね。今日は、新しいクラスでお友達と仲よくするためのたし算のお話です。たし算というと算数の計算のようですが、お友達と仲良くすることもたし算です。

例えば、こんなことはありませんか。「このマンガ面白いね」と言ったら、「全然面白くないよ」と言われて話が終わってしまったとか、「ウサギってかわいいね」と言ったら、「ウサギは嫌い」と言われて話が終わってしまったというようなことはよくあることです。お友達が言ったことに何と答えるかによって、お友達との話が終わってしまうか、楽しく続いていくかが決まってしまうのです。

今、お話ししたような話し方は、そこで話が終わってしまうので、たし算とは言えません。では、何と言ったらよかったのでしょうか。たし算になるような話し方を考えてみましょう。「このマンガ面白いね」とお友達が言ったら、「そうだね。でもこのマンガも面白いよ」というように、友達の言ったことを「そうだね」とか、「いいね」とか、いう言葉で受け止めてから、自分の考えを言うようにすると、話がつながっていきます。このような話し方がたし算の話し方です。周りのお友達の中には、どんなお友達とでも、いつも仲よく楽しく過ごすことができる人がいると思いますが、そういう人はきっとたし算の話し方ができている人だと思います。

「ウサギってかわいいね」と言っている人に、「ウサギは嫌い」と言ってしまうのは、相手を不愉快にさせてしまいます。「本当にかわいいね。でも私はちょっと苦手なんだ」と言えば、「どんなところが苦手なの」などと話がつながっていきます。

「そうだね」「いいね」などは、たし算の記号のような言葉です。たし算のお話ができる、相手の気持ちを大事にしなが、自分の気持ちをきちんと伝えることができるので、お友達との関係をよくしていくことができ、結果としてお友達を増やしていくことができます。お友達と仲よくするためのたし算のコツは、「いいね」というたし算の記号を付けてお話することです。「こうしたらどうかな」「いいね、こんなやり方もあるよ」「いいね、こんなこともできるかな」「いいね、じゃあはじめはこれでいこう」「それがいいね」。どうですか。どんどんアイデアが湧いてきそうな話し合いですね。今日からでも、たし算を意識してお話しするようにしてみましょう。

今日は、お友達と仲よくするためのたし算のお話でした。今のクラスのお友達に感謝し、新しいクラスでもみんな仲良く一生懸命、楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。